

# 知的財産戦略

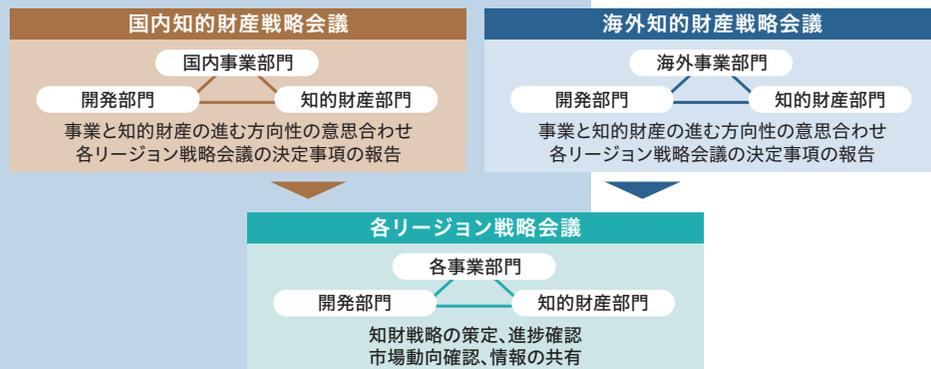
## 知的財産活動の基本方針

当社グループでは、事業競争力の優位性を持続的に担保するために、事業戦略に即した知的財産活動を推進しています。「未来創造と事業収益に直結した知的財産活動」を基本方針とし、国内外における発明等の創造と権利の取得を進めると同時に、知的財産権の活用や他社特許調査による係争等のリスク回避策を講じることで、当社グループのブランド価値の向上につなげています。当社グループは「2023中期経営計画」において、“コア事業と新領域事業のクロス成長”をコンセプトに掲げており、知的財産戦略においてもコア技術の保護に加え、新領域事業の拡大を見据えた取組みを展開しています。

## 知的財産戦略の推進体制

当社グループでは、知財戦略会議を設け、事業部門と知的財産部が連携しながら、知的財産戦略に基づく施策を円滑に実行できる体制を構築しています。

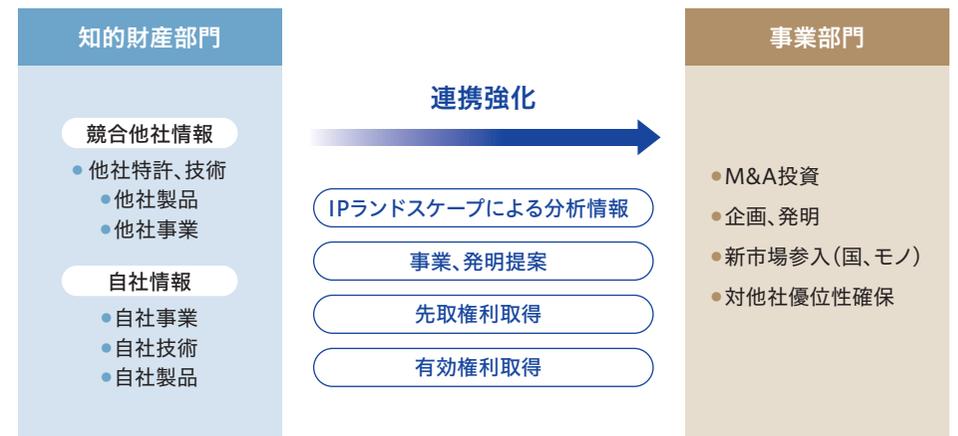
また、グループ全体で知的財産活動を行うために、当社の知的財産部がグループ各社の保有する知的財産権を一元管理するとともに、知的財産活動についても統轄しています。グループ各社と連携しながら、市場動向や顧客ニーズに関する情報を早期に入手し、それらを基にした特許の出願にもつなげています。



## 事業に貢献する知的財産活動

当社グループは、社内外の知的財産情報と市場情報や企業情報とを組み合わせた調査・分析を行う、IPランドスケープを実施しています。IPランドスケープに基づき、事業部門と密接に連携した知的財産活動を推進することで、新たな事業の検証や創造を行い、収益の拡大にも寄与しています。例えば、他社の特許情報などの公開情報を基に、技術的な潮流等に関する分析を経営層や開発部門と共有しています。また、M&Aや他社との提携などに際しては、知的財産部門がプロジェクトチームに参画し、デューデリジェンスに加えて、市場情報や競合他社の特許情報、買収・提携候補先の保有する有力な特許や他社権利の侵害の有無を調査・分析し、意思決定の際の有効な判断材料として提供するとともに、知的財産面からの見解を提示しています。

### 事業部門と密接した知的財産活動による事業創造・検証と収益貢献



## 戦略的な知的財産活動

コア事業における独自技術の保護、優位性の確保

新領域事業におけるリスクの排除と優位性の確保

IPランドスケープの活用

人材育成による専門性の向上

報償制度の充実による発明創出意欲の向上

特許・実用新案・  
意匠保有件数

国内 1,085件

海外 1,057件

計 2,142件 (2022年3月期末)

## イノベーション(価値)の創出

コア技術を基にした  
新たな自動化・省力化  
ソリューションの創出

人々の生活や社会課題、  
市場ニーズに合わせた  
持続的な課題解決

高い参入障壁により  
市場における  
高いシェアを獲得

人と社会の「新たな信頼」を創造する  
リーディングカンパニーへ

### グループにおける知的財産力の強化

当社グループでは、従業員の知的財産に対する意識を高めるために、企画部門、開発部門を対象に、知的財産に関する階層別研修を実施しています。また、知的財産部内では、資格・職位別に応じた人材育成プログラムの中で、専門性の向上を図っています。

また、発明創出意欲の向上に向けて、届出申請をされた優秀な発明や、事業に貢献した発明に対して報償金を支払う、発明報償制度の充実を図っています。

### 知的財産権を通じた市場競争力の強化

当社グループの独自技術や将来の事業に関するアイデア等については、早期に知的財産権を取得することで、独自技術の保護や他社に対する事業における優位性の確保につなげています。

また、新領域事業においては、プロジェクトの企画構想段階から知的財産部が検討メンバーに加わることで、係争等のリスク排除とPoC段階での出願を通じた優位な事業展開を図っています。

当社グループの事業領域の拡大を優位に進めていくために、事業戦略と連動した特許網の構築も推し進めており、またその中で特に重要とする特許を戦略特許として位置付けています。この戦略特許については、全特許出願件数に占める割合を2023年度に10%増加(2020年度比)させることを目指しています。